

本時のねらい

複数のアプローチ方法がある1つの課題に対して仲間と意見を共有しながら、新たな発見を得るとともに、根拠を明らかにしながら論理的に順序だてて相手に説明する力を身につける。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

ロイロノートの共有ノート機能を用い、お互いの考えを共有する。同時に意見を書き込むことができるので、積極的な話し合いが見込まれる。また、プリントでは補助線を図に書き込んだり、消したりすることが大変な部分もあるが、タブレット端末を用いることで簡単に書き込むことができるという利点があり、正解に結びつく多様な考え方を引き出す手立てとなる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (7分)	<ul style="list-style-type: none"> ドリルを使って、計算問題や簡単な図形領域の問題の復習を行う。 平行と合同の範囲について、既習事項の確認を行う。 (内角、外角、対頂角、同位角・錯角、平行線) 	<ul style="list-style-type: none"> テレビモニターにキーワードとなるスライドを映すことにより、視覚的に過去の授業を思い出す。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> 1つの図形に対して、角度を求める方法を考える。【写真1】 ロイロノートの共有ノート機能を用い、できるだけ多くの方法を考え、学習班で共有する。【写真2】 (解答方法の予想) ○平行線の性質を用いる ○三角形の外角を用いる ○五角形の内角の和を用いる など クラスで発表する。 学習班で考えた意見をロイロノートの提出箱に提出する。その中から何種類か異なる考え方を各学習班の代表者が説明する。その際、根拠を明らかにして説明できるようにする。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ロイロノートの共有ノートの機能を使い、協働して問題解決に取り組む。 ロイロノートで提出させることで、生徒が実際に書き込んだカードを説明資料として提示することができる。
まとめ (8分)	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りをする。 各学習班から出てきた様々な考え方の中から、どの方法が1番簡単に、素早く正確に答えを求めることができるのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学習班から出てきた意見のカードを生徒に送り、その中から自分がかっとも簡単だと思うものを選択する。そのカードを選んだ理由も記述し、提出する。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1 1つの図形の角度の求め方を考えている場面。



写真2 共有ノートを活用し、自分の考え方を友だちと共有している場面。

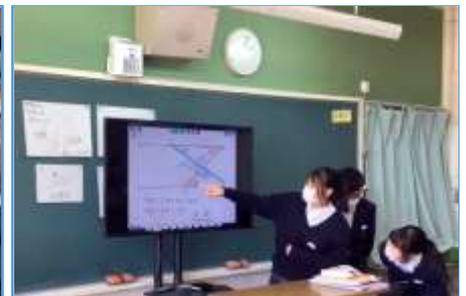


写真3 学習班でまとめた意見をクラスで発表している場面。

児童生徒の反応や変容

途中までしか求める方法が思いつかず答えにたどり着かない生徒にとって、誰かと一緒に考えることで、他の生徒の意見や考え方を参考にしながら答えにたどり着くことができる。そのため、単元を通して課題解決に向けて前向きに取り組もうとする姿勢が多くの生徒に見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

共有ノートを活用することで様々な意見や考え方を見比べることができ、どの考え方が1番簡単に素早く正確に答えを求めることができるのかを考えた。
 ・次回の授業では平行線を用いたり、内角の和を用いたりした問題を生徒同士で作って解き合う時間を計画している。ロイロノートの共有ノート機能を用い、より協働的な学習活動になるようにしていきたい。